

426/134

<p>92-027335/04      D13      ODAG / 23.03.90 ODAGIRIN      *J0 3272-669-A 23.03.90-JP-072200 (04.12.91) A231-01 A231-02 C13f-03/02 Solid-state food soluble in (hot) water - having food mounted on the end of a rod, for candles C92-011728</p>	D(3-E)
<p>Food comprises a food mounted on the end of a rod. The food may be shaped like an animal, plant, vehicle, person or doll and the rod may be made of wood, bamboo, paper or synthetic resin. USE - Used for candles. (4pp Dwg.No.0/4)</p>	

© 1992 DERWENT PUBLICATIONS LTD.  
128, Theobalds Road, London WC1X 8RP, England  
US Office: Derwent Inc., 1313 Dolley Madison Boulevard,  
Suite 401, McLean, VA22101, USA  
Unauthorised copying of this abstract not permitted

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-272669

⑬ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)12月4日

A 23 L 2/00  
1/00  
1/40  
C 13 F 3/02

W 6977-4B  
Z 6977-4B  
8114-4B  
8931-4B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 棒付水湯溶性固形食品

⑯ 特 願 平2-72200

⑰ 出 願 平2(1990)3月23日

⑱ 発 明 者 小 田 切 伸 行 神奈川県横浜市港北区大豆戸町931-1 C-214

⑲ 出 願 人 小 田 切 伸 行 神奈川県横浜市港北区大豆戸町931-1 C-214

明 細 書

1 発明の名称

棒付水湯溶性固形食品

2 特許請求の範囲

棒のはしに水や湯に溶ける食品を固形にしたものを取り付けた棒付水湯溶性固形食品。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、棒のはしに固形砂糖や、固形スープ、固形飲料のように水や湯に溶ける食品を棒のはしに取り付けたものである。

(従来の技術)

従来の水湯溶性食品は、棒とは別個のものであった。その為になじむ時は別に匙を用意しなければならなかった。

(実施例)

本発明の実施例を図に基いて説明する。

1は棒で、そのはしに水湯溶性固形食品2を取り

付けたものである。

なお、この実施例では水湯溶性固形食品の形を角形にしたが、円形、動物、植物、模面、象物、人物、人形などの形にすれば見ても楽しめる。

また、棒の素材を木、竹、紙、合成樹脂にすれば使い捨てとしても便利である。

また、棒のはしの部分は匙の形、平状、玉状の形でよい。

(発明の効果)

この発明は、実施例に示すように棒のはしに水湯溶性固形食品を取り付けたものであるから匙を別に用意しなくても、そのまま筒の中で水及び湯と、溶ける水湯溶性固形食品を棒で攪拌できるから便利である。

また、攪拌出来る棒と水湯溶性固形食品が一体になっているので持ち手にも便利である。

4 図面の簡単な説明

図は本発明の実施例を示すもので、第1図は斜視図、第2図は正面の断面図、第3図は側面の断面図、第4図は棒のはしが匙の形の場合の正面の断面図、第5図は棒のはしが匙の形の場合の側面の断面図である。

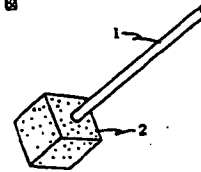
第6図は従来例を示す斜視図。第7図は棒のはしが匙の形の場合の従来例である。

1は棒、2は水漏り性固形食品である。

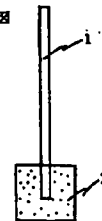
1 棒

2 水漏り性固形食品

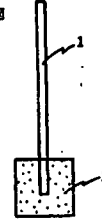
第1図



第2図

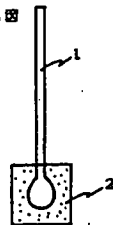


第3図

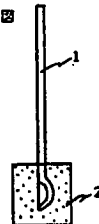


特許出願人  
小田切 伸行

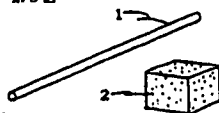
第4図



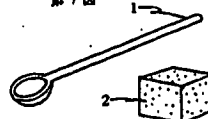
第5図



第6図



第7図



手続補正書(自発)

(内)

平成 3 年 4 月 5 日

特許庁長官

殿

1 事件の表示

平成 2 年特許願第 72200 号

2 発明の名称

水漏り性固形食品

3 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所

神奈川県横浜市港北区大豆戸町931-1  
C-214

氏 名

小田切 伸行

4 補正の対象

明 細書全文 及び 図面

5 補正の内容

方式 (簡便)  
別紙の通り



## 明 細 書

## 1 発明の名称

匙付水溶性固形食品

## 2 特許請求の範囲

匙のはしに水や湯に溶ける食品や薬品を固形にしたものを取り付けた匙付水溶性固形食品。

## 3 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

この発明は、匙のはしに固形砂糖や、固形スープ固形飲料のように水や湯に溶ける食品及び薬品を匙のはしに取り付けたものである。

## (従来の技術)

従来の水溶性食品は、匙とは別個のものであった。その為に飲む時は別に匙を用意しなければならなかった。

## (実施例)

本発明の実施例を図に基いて説明する。

1は匙で、そのはしに水溶性固形食品2を取り

付けたものである。

なお、この実施例では水溶性固形食品の形を角形にしたが、円形、動物、植物、洗面、乗物、人物、人形などの形にすれば見ても楽しめる。

また、匙の素材を木、竹、紙、合成樹脂にすれば使い捨てとしても便利である。

また、匙のはしの部分は匙の形の他、平状、玉状、棒状でもよい。

## (発明の効果)

この発明は、実施例に示すように匙のはしに水溶性固形食品を取り付けたものであるから匙を別に用意しなくても、そのまま器の中で水及び湯と、溶ける水溶性固形食品を匙で攪拌できるから便利である。

また、攪拌出来る匙と水溶性固形食品が一体になっているので携帯にも便利である

## 4 図面の簡単な説明

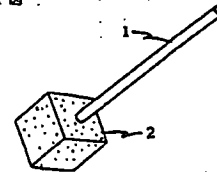
図は本発明の実施例を示すもので、第1図は斜視図、第2図は正面の断面図、第3図は側面の断面図、第4図は従来例を示す斜視図。

1は匙、2は水溶性固形食品である。

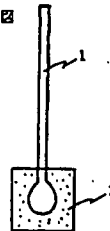
1 匙

2 水溶性固形食品

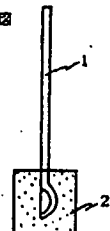
第1図



第2図



第3図



特許出願人  
小田切 伸行

